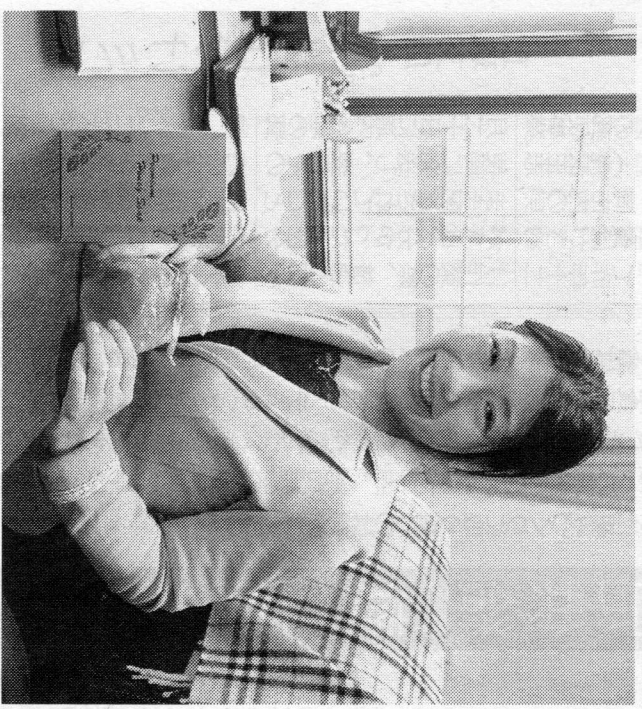


八雲の元保健師 山内さんが起業

熊石海洋深層水を使ったせっけんを手にする山内社長



【八雲】町役場の保健師だった町内柴町の山内智子さん(34)が、美容関連商品などのインターネット販売会社「Wellbeing(ウェルビイング)」を設立、熊石海洋深層水などで作ったせっけんなどの販売を始めた。山内社長は「保健師の経験を生かし、地域の素材を使った商品で町を元気にしたい」と張り切っている。

(草間康弘)

熊石深層水せっけん発売

「地域の素材で町元気に」

山内さんは看護師の資といた。最初のオリジナル商品ほか、八雲産はちみつ、深層水から作られた塩なアムニオンTMは保潔効果が高い。つば

に会社を設立した。以前から「いつか自分ので会社を経営してみたい」と思っていたという山内社長。忙しい保健師の仕事で肌の悩みも抱えていたが、八雲町と合併した熊石の海洋深層水を知り、これで美容や健康に良い商品を作りたいとの思いが強まった

らない。自然素材がベースなので肌にも優し「という。開発、製造は福岡県の職人に頼んだ。このほか自分が気に入った化粧品やサプリメントなどを代理店としてネット販売。さらに深層水を使った入浴剤なども開発中だ。

豊富な熊石海洋深層水の「せっけん(一個百円)三千六百円。同社のホームページ: <http://www.wellbeing-hokkaido.jp>

国語教科書のクイズ

編集者 Aaron 加納諍治

クイズというので昨年春から月に三回は役に立つと思われ言葉で引くと「作どのペースで参加していただいている。言葉「仕事場」そして。一九四七年生まれの私「研究會」講習会」クイズは、私の世代は、この国で「戦られれば」といって喜ぶことある教材ではない、話んだ。丸山真男「でまどが続き、さらに「舞が十年前まで動いていた後」といわれた二十世紀のクイズは始ぐ最近新聞に発表されたい芸術などで、組織の粋東京の出版社で行われてを扱えた参加者による講いる。私以外のメンバー

社会環境で育ってきた世間。また例えば、現代の違はどのくらい「現となるのか。言語表現役の筆者で、最新の教手だったところ評価が高かったが現在は教材として消えている文章も読んだ。唐木健一、中井正人、渡辺二夫、林達夫等々。また、三、四十年は小浜逸郎などの各氏の文と定番化している教材も

教材めぐりの苦手と対話